

氷のキズに関する弊社の考え方とお願い(必ずお読み下さい)

弊社は常にベストの状態、皆様に氷をご提供することを第一と考えております。

しかしながら、実際には整氷1回～1.5回の作業で、次の利用団体が競技または練習を行う上で、著しく支障をきたさない事を最低のラインとして提供せざるを得ません。これは氷の特性上、復旧に際して非常に時間がかかるという事で、特に深い溝等に関しては数時間単位の時間が必要になる事を、ご理解いただきたいと存じます。その上で利用団体の皆様に下記のとおり氷のキズに対してのお願いや要請をして参りますが、何卒ご理解の程お願い申し上げます。(尚、これらの要請に同意いただけない場合は、使用中止も含め対処させていただきます。)

★氷のキズについて修復(穴埋め等)や練習方法の改善要請を行う基準

【整氷1回～1.5回の作業を行ってもなお次の利用団体に著しく影響を及ぼす場合】
(発生したキズが次の団体に著しく影響を及ぼすか否かの判断は、最終的に弊社が行います)



★次の団体に著しく影響を及ぼすと認めた場合

《アイスホッケー団体》

練習方法の改善(工夫)を要請いたします。事例としてはストップやキャリングの連続によりライン周辺が掘れてへこんだり、部分的に氷がザクザクになる等があります。

改善要請の具体例として、ストップやキャリングを連続して行う場合は、位置をずらしながら、氷に著しいダメージを与えないように、練習の工夫をお願い致します。

《フィギュア団体》

著しく影響を及ぼすキズ(穴等)に対し、シャーベットによる穴埋めをお願い致します。

シャーベットの入ったバケツをご用意いたしますので、貸切時間内にて穴埋めをお願い致します。

《ショートトラック団体》

コーナー部分がザクザクになる場合は、事前に中間整氷を弊社に依頼するなどの対処をお願い致します。 * 中間整氷は貸切時間に含まれます。

より良い環境で練習できますよう、ご理解・ご協力をお願い致します。